

お詫びと訂正

弊社刊行の『支援困難事例と向き合う』の本文中、以下の箇所にて誤りがございました。お詫びして、訂正させていただきます。（2015年1月31日更新）

該当頁	該当箇所	誤	正	備考
17 頁	3 つの発生要因による分析		「社会的要因」に以下の事項を追加。 「・親族間で言い争いが生じるなど、同居家族のバランスが崩れている。」	第 2 刷で修正
31 頁	3 つの発生要因による分析	「個人的要因」 ・精神状態の起伏が非常に大きい。 <u>状態が悪いときは、杖を人に向けて振り回すこともある。また、玄関先で放尿行為等がある。</u>	・精神状態の起伏が非常に大きい。杖を人に向けて振り回したり、 <u>玄関先での放尿行為等がある。</u>	第 2 刷で修正
66 頁	3 つの発生要因による分析	「社会的要因」 ・積極的な姿勢がみられないことから、 <u>現状の変化に向けての援助関係が結べない。</u>	・積極的な姿勢がみられないことから、変化に向けての援助関係が結べない。	第 2 刷で修正